

村岡親子による神戸市政の構造汚職。  
 参考人聴取を受けた矢田立郎市長を始め助役、  
 幹部職員、保守党市議…。  
 ゴマカシに狂騒する姿は呆れて口がふさがりません。  
 このままでは神戸がつぶれてしまいます。  
 とても、ほっとけません。

# ほっとけない!!!



Reはリニューアル(新生)のRe、リアル(真実)のRe、  
 リバイバル(回復)のRe、リフレッシュ(清新)のRe、  
 リクエスト(要求)のRe、リコール(取り戻す)のRe、  
 ルネサンス(復興)のRe、そしてリコウベ、神戸再生のRe。

# 神戸市は傀儡か!

資源リサイクルセンターの運営を「福祉団体」から民間委託に変えた上、期間の売却収入を委託業者に提供、産廃処理施設の設置許可基準を特定業者のために変更、市有地を最安値で売却…。神戸市をつつみこむ贈賄事件と疑惑は広がるばかりです。ところが、矢田立郎市長は自身がリサイクルセンターの民間委託を決定したことが市の内部文書から明らかになっているにもかかわらず、「不正はなかった」としてわずか30%、3カ月の減給ですませようとしています。しかし、次々と明るみになる事実は、与党会派、悪徳業者、神戸市長と官僚のトップの三者が、それぞれに役割を果たした構造汚職であることを物語っています。

異常な疑惑の市有地売却だけでも、神戸市は84億円もの損失を発生させています。市民には高額な住民税や国保保険料、介護保険料を押し付ける一方で、甘い汁を吸う連中のためには、いくらでも市のルールを変える。こんなでたらめな市政は許されません。



疑惑が続々…

- ★特定業者の要求で「産廃要綱」を改定。
- ★リサイクル施設委託先が「福祉団体」から、事実上、贈賄業者に変更。
- ★分別カンの売却利益はすべて贈賄業者に。
- ★ゴミ運搬業へ特定業者参入をあっせん。
- ★神戸空港のゴミ回収を贈賄業者が。
- ★空港島護岸工事の産廃処理に贈賄業者が参入。
- ★空港ターミナルビル設計変更を自民・公明・民主党がごり押し。
- ★市有地売却に、新コンベ方式を導入。裏に自民党市議のカゲ。
- ★新神戸駅前・布引車庫跡地売却…新コンベ方式で46億円の損。
- ★「御影工業高校跡地」売却…新コンベ方式で32億円の損。
- ★ポートアイランド西側の土地売却で安売り。6億3千万円の損。
- ★神戸市の事業を請け負っている業者から自民党議員に多額の政治献金。
- ★市職員人事へ村岡功被告が介入…産廃物担当主幹を一年で転載。

「傀儡」かいらい  
①あやふしな形、くづついで  
②転じて、人の手先になんて  
その意のままに動く者

# 神戸市の構造汚職を問う。

## 神戸市政の主人公は誰？ 市民無視の神戸市、自民党議員には言いなり。

前自民党神戸市議団長の村岡功被告とその長男である龍男被告が逮捕・起訴されました。その後も次々出てくる神戸市・自民党・与党ぐるみの疑惑。しかし、今明らかになっている疑惑は、おそらくまだほんの一握りです。いったいどこまで広がっていくのでしょうか…  
これらは単なる「村岡事件」ではありません。神戸市と自民党・与党と悪徳業者の「構造汚職」であり、民主主義と市民の暮らしに関わる大問題です。  
神戸市はこれまで、震災直後の「個人補償」を求める声も、「神戸空港建設」めぐる2度にわたる30万人の市民の声も、「公立保育所の民営化をやめて!」という10万人を超える声も、市民の切実な声を一切聞くことなく、強引に市政を運営してきました。ところが、自民党の有力議員には言いなりで、一緒になって市政を歪めてきたことにたいし、市民の中から「誰のための市政や」「市民をバカにするのはやめて」と、怒りの声があがっています。

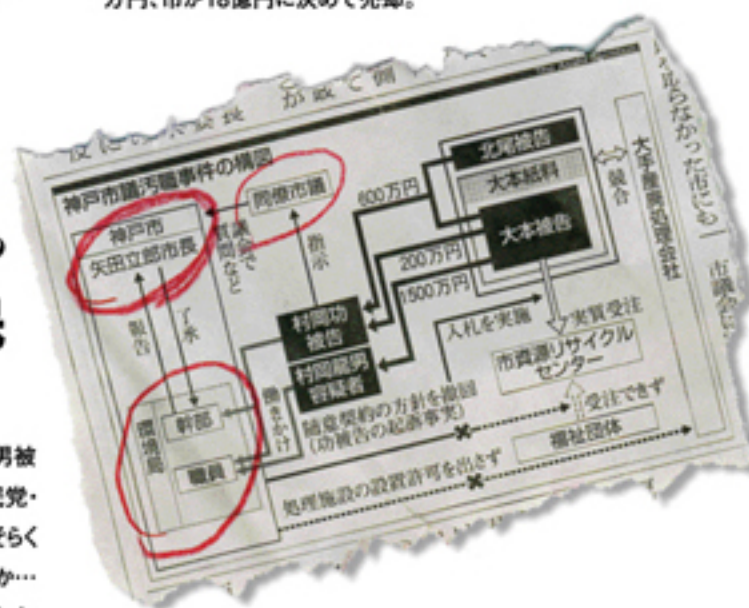
## 市民が選別した空き缶がすべて贈賄企業の利益に。

村岡被告は、神戸市に圧力をかけて、西区のリサイクルセンター運営を「福祉団体」から民間委託へと変更させました。この結果、知的障害者のための「福祉工場」がすっかり変質。村岡被告がわいろを受け取った業者が、事実上運営権をにぎり、空き缶の収入もすべて手に入れることとなったのです。空き缶の売却益は年間2億円にもなります。これは本来、市民のために使われるべきお金です。  
しかも、民営化も、空き缶の売却益をすべて委託業者のものにすることも、市長の「一言」で決めたことが、当局のメモから明らかになっています。

## 市有地売却。たたき売りで84億円あまりの大損。

市民の貴重な市有地を神戸市は「財源対策」として売却しているはず。ところが、安売りで84億円も大損。これらの疑惑にはすべて村岡被告や自民党議員の関与が疑われています。市民のくらしや福祉・営業に関わる部分は「財政難」を理由にどんどん削っておいて、市有地は特定企業にたたき売りなんて…。84億円を市民のために使えば、市民のための施策がどれだけできるでしょうか。例えば、乳幼児医療費を就学前完全無料化するなら約14億円、小中学校全てで35人学級を実現しても17億円です。公立保育所の民間移管1ヵ所5000万円も必要ありません。

- (1) 布引車庫跡地で46億円の損  
66億円で買ったのに → 20億円で売却
- (2) 御影工業高校跡地で32億円の損  
「116億円」で買うといった業者が落選、「84億円」の業者を採用。
- (3) ポートアイランド西側の土地売却で6億3千万円の損  
Aブロック：「18億5千万円」の額を示した企業は落選。「16億5千万円」で売却。Bブロック：「約5億3千万円」の額を示した企業は落選。「4億5千万円」で売却。業務系ゾーン：鑑定額は21億5千万円、市が18億円に決めて売却。



## 市民の税金がまわりまわって自民党市議に。

これらの汚職は、自民党市議が、市民のお金を使って進める市の事業に群がって、神戸市に圧力をかけて特定の業者に便宜をはかり、わいろを受け取るという構図。つまり、市民の税金がまわりまわって自民党市会議員のポケットに入っていることになります。市民の税金を使う市の事業には、市民の声を一番に反映させ、情報も公開してクリーンに進めなければなりません。

缶から民とはよく言ったもんだ!



## 市長・助役まで参考人聴取されるという前代未聞の事態です。

市長が関与していた事実は隠しようもなく、これがなければ村岡被告の犯罪はなりたちません。しかし、自らはたった3ヵ月、給料を3割カットし、市職員を処分するだけで終わらせようとしています。

これら事件に関する事実を全て知りうる立場にあるのは市長です。市長は、人ごとのように無責任な発言を繰り返すのではなく、自らの政治責任を認め、事実を語り、政治責任をとって辞職すべきです。

また、神戸市と自民党ぐるみというだけでなく、公明・民主党議員も関係しています。3階建て空港ターミナルビルを急ぎよ4階建てに変更させた疑惑でも、公明党議員が本会議で要求し、その日の昼休みに、自民・公明・民主党の市議団長がそろって、市長・助役・局長ら呼び出し、圧力をかけています。

構造汚職の全容を解明し、神戸市のウミをだしつくし、市政を市民の手にとりもどすために、私たち市民の監視と参加が求められています。

## 市政の歪み、許せない!!

悪徳業者にはサービスするのに、市民には保険料・住民税を倍増。

神戸市北区 大川 幸隆(69歳・理容業)

国保料・介護保険料・市県民税の通知書が一度に届けられ、その中身を見て怒りが湧いてきました。昨年は国保料の減免の書類が同封されていたのに今年は無い、市県民税は1.5倍、介護保険料は2倍。国保の減免制度が無くなったかと思いました。私たちのような高齢者夫婦は、年々売上げが下がる中で、健康が一番心配です。

今回の神戸市汚職問題では、リサイクルセンターは神戸市に本来入る2億円をほったらかして、悪徳業者と汚職議員に利益誘導、他にも市有地を叩き売ったりして何十億円もの損害…。

私ら高齢者の高齢者へその分支援してくれたらどれだけ助かるか。矢田市長は当然責任を取ってやめないか!

## 市政の無責任、許せない!!

公立保育所を民間に移し、保育料も引上げ。

兵庫県保育所運動連絡会 増田 百代

神戸市は2006年度(平成18年度)、公立保育所3ヵ所を、保護者の反対を押し切って民間移管しました。公立保育所を民間移管して、広く子育てを支援するというのが理由です。



2006年度予算で保育所をみると、職員費が3億円と、保育所運営費は1億円減少しています。子育て支援として一時保育の充実を打ち出していますが、もともと国の補助金制度で国から充実が求められている制度です。同じように、待機児解消・病後児保育などのメニューをあげていますが、民間移管すべき施策ではなく、予算を増やして充実すべき施策です。また、今年度は保育料の値上げをしました。市民税非課税所帯の乳児で月900円、所得税が年間40万8千円の所帯の乳児で月2,000円の値上げになっています。

収入が安定しない若い子育て所帯にとって、健康保険料などのさまざまな値上げと重なって、ますます子どもを産み育てることが困難になっています。

## 介護保険料増えたのにサービスは削減

介護センターきょうとうケアマネージャー 川端 典子

介護保険法の「新予防給付」は、デイサービスやホームヘルパーで何とか毎日の生活を継続させている90歳の高齢者からサービスを奪い取るのに、保険料は死ぬまで徴収します。非課税世帯の、この90歳の方は、保険料が年間31,005円から42,246円にと1万円も増えました。「なんで保険料が高くなったのに、デイサービスの回数が減ったんや…」と怒りの声ばかりです。本当に必要なことにお金を使ってほしいものです。

## 市の土地を安売りしながら市営住宅の家賃上げと減免率引き下げ狙う神戸市

震災研究センター事務局長 出口 俊一

住民税、国保料、介護保険料の大幅アップ。このような時に、神戸市の矢田市長はさらに追い打ちをかけるように市営住宅入居者に家賃上げや減免率(最高7割)引き下げを考えています。

今年1月に矢田市長は「神戸市すまい審議会」(会長は安田丑作神戸大学工学部教授)に家賃制度を「諮問」しました。減免額が40億円を超え、市営住宅入居者の半数近くが、この減免適用者というのです。4月末に開催された同審議会の「市営住宅部会」(部会長も安田丑作神戸大学工学部教授)には委員の誰一人として、「家賃上げが必要」「減免率引き下げ」などに言及しませんでした。また、7月25日午前「公募型ヒアリング」と題された意見聴取が実施されました。

神戸市は「財政が厳しい。減免額が40億円を超えている」と繰り返しています。しかし、その同じ神戸市が、市有地の売却では最高値よりも43億円6000万円も安い値段で売却しています。

視本日出夫助役は市議会で「神戸市にとって、損失とは考えていない」と答弁しました。「神戸市は太っ腹、43億円6000万円もまけてやるんだから。その金があれば、市営住宅入居者に追い打ちをかけるようなことをしなくてもすむ」と被災者支援を続けてきている市民が語っていました。



# 構造汚職そのものだ。

## 野党会派3氏に聞く。

市議員贈収賄事件について。

住民投票☆市民力 恩田 怜

「突然のことで驚いている。捜査には全面的に協力している。検察当局から指示を受けているので、操作内容等についてのコメントは差し控えたい」。4月5日村岡功市議が逮捕されたときの矢田立市長の談話である。この談話には正直こちらが驚いた、これまでの本会議場での連日の執拗なまでのTV撮影など、Xデーは私どもにも予想されていた。これまで市長は行政に不正はなかったと主張しているが、一方の当事者として村岡市議(当時)に協力してきたことは明らかである。検察の指示を理由にこのような事態を招いたことに対する市民への説明も謝罪もない、まさに驚きである。

昨年の市長選挙では村岡功市議が中心となって選挙戦を仕切ってきた、まさに市長の守り神。村岡市議と一体となって市政を運営し、不正を許してきた政治的責任は大きい、免れるものではない。市長や助役、関係局と自民党議員3人が捜査を受け、事情聴取されている現在。今後どのように事件は拡大するのか予断を許さないが、この際、疑われている事件の経緯のすべてを明らかにし、このような不正が再発しないような仕組みを構築しなければならない。

村岡被告に手を貸してきた市長は責任を取って辞任すべきである。またこのような事態を招いた与党3党による多数の横暴を糾し、これを機会に真の市民のための市政が行われるよう努力したい。市民の皆さんに声を上げていただきたい、神戸を再生させるために支援をお願いしたい。

## 密室協議での市政運営が汚職の温床。

新社会党神戸市会議員団 幹事長 あわはら 富夫

今回の汚職は、自民党ぐるみ汚職であり、市長と与党会派との密室協議での市政運営が常態化する中で起こった構造汚職です。自民党会派は「村岡親子の問題、利用されただけ」と主張しています。

しかし、今回の問題で複数の自民党議員が審議会や議会の場で変更を求める発言をしており、特にリサイクルセンター問題では、会派を代表した本会議発言や総括質疑、会派意見表明も行っていきます。自民党ぐるみ犯罪であることは明らかです。

再逮捕の当日に、これらに関わった自民党議員3人が自宅捜査を受けました。また、一方、矢田立市長は「職員に不正はなかった」と公言しています。しかし、要綱変更も委託を随意から公募に切り替えたのも、すべて神戸市当局です。特に、リサイクルセンターの委託変更は市長や助役の関与なしではあり得ないことです。

今回の疑惑の中にある市議の1人が、当時の委員会の場で「市長判断」だと明言しています。矢田立市長や助役の部屋が検察に捜査を受け参考人聴取を受けたことはこのことを証明しています。矢田市長誕生から5年、市長選挙で貢献した自民党の占める位置が大きくなり、本会議で永年、質疑しない議員が、神戸市の政策変更を市当局者と与党会派とともに密室で行うこの仕組みがまさに今回の汚職の温床です。現在、3会派の努力で、政治倫理確立委員会に、百条委員会の権限を付与することができました。

この権限を使いながら全容解明と再発防止に全力をあげます。



## 自民党・与党と神戸市政の癒着が原因。日本共産党議員団、徹底調査。市長の関与を明らかに。

日本共産党神戸市会議員団 団長 西下 勝

村岡功・龍男被告と自民党市議員団ぐるみの汚職・疑惑事件は、神戸市幹部を含めた構造汚職となっています。あわせて、神戸市政の反市民的な立場、与党との癒着ぶりをあらわにすることにになりました。

わが党議員団は、事件の全容解明のため、徹底的に調査をおこない、具体的な事実で追及、矢田立市長を追い込んできました。資源リサイクルセンターの運営方法を、福祉工場方式から民間委託へ政策変更したのは、市長の判断だったことが、市の内部資料から明らかになりました。産廃要綱変更の問題では、疑惑がもたれている時期の1年半の間、神戸市の受付簿が「記載漏れ」となっていることも明らかになっています。

市長は、事件以来「圧力はない、職員の不正はない」と言い続けてきました。5月26日に発表した「内部監察報告」では、「一部事務手続きで職務違反があった」としながらも、市長自身の政治責任は認めず、「道義的責任として給料を3ヵ月3割カット」するだけで幕引きをしようとしています。市長は真実を語るべきです。

市長は、この間、福祉や市民サービスの切り捨て、公共料金値上げなど、市民に負担増を押しつけてきました。ところが、土地売却コンペでは、市有地をたたき売り、大損をしています。

さらに、市民は、空きカンなどの分別回収に協力していますが、これらはすべて、汚職業者の利益になっているのです。このシステムを作り上げたのが矢田市長です。

市民が主人公の市政に刷新するためにも、真相糾明のために全力でがんばります。





拝啓 矢田五郎神戸市長殿

「福祉の矢田」として颯爽と登場し、市長に当選し、現在2期目のお勤めをしておられますが、この度はあなたを見事に当選させた市長選の事実上の参謀であり、またこれまで多大なご尽力を頂いたであろう市議会与党自民党会派の重鎮村岡功・同龍男氏による親子市議汚職事件によって、これ以上ないという屈辱を味わっておられることと察します。

あるうことが先般6月18日のマスコミ各社の記事によりますと「神戸市議汚職 村岡父子再逮捕へ」と報道されています。

もう深く市長の職を辞し、これまでの市政の悪いところは、すべて一番に市長あなたが熟知しておられるので、本当の市民参画による、市民主役の市政改革の道筋を提案されることを切に願います。

人間引き際が肝心です。いかに栄華を謳っても人生の終着が汚れたままでは本望とは言えません。真の矢田市長のサポーターは市民です。なせならば、英断を持って市長の職を辞すれば、あなたは全ての災いと苦悩から解放されるからです。

どうぞ安心してハトシタッチをして下さい。  
敬具